

## 令和元年度 帯広調理師専門学校 自己評価報告書

### 1. 実施方法

学校長の指示下、評価表を作成しそれぞれの項目について点検、評価を行った。評価は、「1(不適切)～4(適切)」の4段階評価とし、可能な限り根拠や課題を明示するように努めた。

### 2. 自己評価 結果 (状況・課題等)

基準1 教育理念・目的・育成人材像		評価
【1-1】	理念・目的・育成人材像は定められているか	3
【1-2】	中期的(3～5年程度)な視点で、将来構想を定めているか	2
【1-3】	学内外に関わらず、実習の実施にあたり関連業界等からの協力を得ているか	4
【1-4】	理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	3
<p>本校の理念である「知・心・技」の三位一体を柱とし、社会に貢献できる人材育成を目指している。しかし、パンフレット等に具体的に明記されていないので、次年度以降の学校案内には記載することを計画している。将来構想に関しては、社会人経験者の入学増加にともない、年齢や性別に左右されることなく自己実現のできる就労形態を確保し、必要に応じて起業支援等を行い、誰もが夢をもって働ける地域創りに貢献する学校運営体制を取りたいと考えている。これらを広く周知することが課題である。また、中長期的な視点で、ひとつひとつの課題を達成する必要がある。</p>		

基準2 学校運営		評価
【2-5】	理念等に沿った運営方針を定めているか	3
【2-6】	学校の組織運営に携わる職員の意欲及び資質の向上への取り組みを行っているか	4
【2-7】	理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか	4
【2-8】	職員の採用基準・手続きについて規定等で明確化し適切に運用しているか	4
【2-9】	教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか	4
<p>職員の意欲及び資質の向上を図るために、法人全体で様々な研修会を実施している。それらの学びを職員間で共有することで、組織としての方向性をお互いに確認しあい、円滑な組織運営のできる環境を整備している。</p>		

基準3 教育活動		評価
【3-10】	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4
【3-11】	資格・免許取得において支援体制を整備しているか	4
【3-12】	終了にかかる授業時数・単位数を明示しているか	4
【3-13】	キャリア教育を行うために教育内容・教育方法・教材について工夫しているか	4
【3-14】	取得目標としている資格・免許の内容取得の意義について明確にしているか	4
【3-15】	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4

生徒全員が卒業と同時に調理師免許の取得ができるよう、単位管理、補習、追試等をしっかりと行うと共に、実技試験の不合格者が出ないように、放課後等個別練習にも応じている。また、調理師としてのキャリアプランをきちんと立てられるよう、調理師の社会的役割を意識させ、免許取得の意義を明確にし、就職意識を高めることに繋げることが必要であると考えている。

基準4 学修成果		評価
【4-16】	学生の就職活動を把握しているか	4
【4-17】	就職率に関する目標設定はあるか	4
【4-18】	卒業生の社会的評価を把握しているか	3
<p>生徒の希望する就職先や勤務地に合わせ、適切な時期に就職活動に向けての声かけを行うと共に、放課後等に個別面談を行い就職活動状況の把握に努めている。また、就職率は例年100%を目標としているが、近年、社会人経験者の入学生が増えているため、100%の就職率を達成することが困難になりつつある。地域の企業にご理解・ご協力をいただき、今後とも就職率100%を維持していくことが課題である。卒業生の地域での活躍を含めた社会的評価は、就職先、卒業生本人、同級生など各方面からの情報を元に把握に努めている。また、毎年6月頃には卒業生の就職先訪問を行い、現況を把握し、離職率の低下に繋がりたいと考えている。</p>		

基準5 学生支援		評価
【5-19】	履歴書の書き方・面接練習など具体的な就職指導を行っているか	4
【5-20】	退学に結び付きやすい、心理面・学習面での特別指導体制はあるか	3
【5-21】	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
【5-22】	学生の問題解決にあたり、保護者と適切に連携しているか	4
【5-23】	卒業生の再就職、キャリアアップ等についての相談に適切に対応しているか	4
【5-24】	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4
<p>就職活動の開始時期が地域により異なり、十勝管内より札幌、東京方面のほうが先行するため、履歴書の添削、面接練習等は各々の必要な時期に合わせ、個別に指導をしている。また、就職担当の職員だけでなく当学園の理事長、校長を始め様々な職員による面接指導を行うことで、就職活動に向けた実践力を身に付けさせている。例年、1学期を終える頃に退学意向者が出やすいため、生徒達の些細な変化を見逃さず、職員間で情報を共有すると共に、必要に応じて本人や保護者との面談を行っている。一昨年より、職業訓練事業を受託しており、既卒者の入学生が多く在籍するため、それぞれの生活環境に合わせ柔軟に対応できるよう努力している。また、卒業生の再就職に関しては、要望に応じてその都度対応すると共に、企業側からの人材紹介の要請があれば、卒業生にも周知し、仲介を行っている。</p>		

基準6 教育環境		評価
【6-25】	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3
【6-26】	学外実習について実習期間の指導者と連絡・協議の機会を確保しているか	4
【6-27】	学校行事に生徒を積極的に参加させているか	4
【6-28】	卒業生・関連業界、学生の就職先等に行事の案内をしているか	2

【6-29】	授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し適切に運営しているか	2
<p>学校全体の施設・設備は、厚生労働省の調理師法施行規則のほか、調理師養成施設ガイドラインに沿って整えている。実習室は、平成24年に実習台を全面入れ替え(現第2実習室)し、平成28年には現第1実習室を増築するなど、整備を行っている。</p> <p>事故等に関する対応マニュアルは、不審者侵入対応、感染症対策など整えているが、近年の異常気象、防災に対応するためにも、職員間だけでなく生徒への周知を課題としている。</p>		

基準7 学生募集と受け入れ		評価
【7-30】	高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか	4
【7-31】	専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか	4
【7-32】	志願者からの入学相談に適切に対応しているか	4
【7-33】	入学基準を明確化し適切に運営しているか	4
【7-34】	経費内容に対応し学納金を算定しているか	4
【7-35】	入学辞退者に対し授業料等について適正な取り扱いをしているか	4
<p>生徒募集に関するコンテンツ業者が主催するガイダンス等に参加するほか、公益社団法人 北海道私立専修学校各種連合会(北専各連)を通じて、要望に応じて高校へ出向き出前授業を行うなど、募集活動を行っている。</p> <p>例年、年間20回前後のオープンキャンパスを開催し、実際に調理実習を体験してもらう、個別相談に応じるなどしている。</p> <p>入学辞退者、中途退学者については、学内規定に則り、返金手続きを行っている。</p>		

基準8 財務		評価
【8-36】	学校及び法人運営の中期的な財務基盤は安定しているか	3
【8-37】	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3
【8-38】	私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	4
【8-39】	監査報告書を作成し理事会に報告しているか	4
<p>当校の会計は、学校法人会計基準に基づき、適切に処理されている。監査については、寄附行為に基づき監事が監査を行い、理事会へ報告している。</p> <p>財務基盤の安定のために、学生数の確保が重要と考える。</p>		

基準9 法令等の遵守		評価
【9-40】	法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営をおこなっているか	3
【9-41】	学校が保有する個人情報保護に関する対策を行っているか	3
【9-42】	自己評価の実施体制を整備し、評価をおこなっているか	3
【9-43】	学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3
【9-45】	学校関係者評価の結果を公表しているか	3
【9-46】	学校の概要、教育内容等の教育情報を積極的に公開しているか	3

各法令や専修学校設置基準の遵守に対し、毎年チェックしている。個人情報保護については、職員各自に「個人情報保護誓約書」を提出させている。

学校関係者評価に関しては、本日の結果を後日ホームページにて公表し、次年度以降も継続的に実施していく。

基準10 社会貢献・地域貢献		評価
【10-47】	国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に参加しているか	4
【10-48】	学校施設・設備等を地域・関連業界・卒業生等に開放しているか	4
【10-49】	高等学校等が行うキャリア教育の実施に教員を派遣するなど積極的に支援・協力をしているか	4
【10-50】	ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか	3
<p>当校は、北専各連の高校生向けキャリア教育プログラムや中学生向け職業体験講座に登録しており、高校へ出向いて出前授業や、中学生の受け入れを行っている。中学生の受け入れについては、十勝管内のほか、えりも中学校からの来校もあり、例年、10校弱のべ80名前後を受け入れている。</p> <p>実習室は、卒業生や北海道全調理師会等からの要望を受けて、当校の学校使用規定に基づき、開放している。</p>		